



VOL. 9 NO. 2 The University of the Ryukyus Library Bulletin 1976.11.26

アメリカ 第3の世紀
— 建国200年祭記念のプリントショー —

図書館では、アメリカ領事館の要請により、アメリカ第3の世紀—建国200年祭記念のプリントショーを催すことになりました。職員、学生の多数の方々をご覧くださいませようご案内します。なお開催期間と場所は次のとおりです。

期間 昭和51年12月13日～17日

場所 図書館3階 閲覧室

プリントショーの概要

紹介される作品は、建国200年を記年して13人の著名なアメリカのアーティストが制作したオリジナル版画集「アメリカ第3世紀」に収録されたものである。この版画集のショーはアメリカ建国200年祭の事務局（ARBA）による公式行事である。

学外への文献複写申込について

国立大学附属図書館間の相互協力の一環として、本館では学外への文献複写依頼または受付を従来行ってきましたが、これが本格的に実施されたのは復帰後からであります。

昭和47～48年度は年間50～60件しかなかった学外への複写申込も昭和49年度は379件に達し、更に50年度は700件を数へ、申込件数が逐年増える傾向にあります。それに伴って複写引受館からの注意事項も多くなってきました。この例をここにあげて各教官、学生のご協力をお願いいたします。文献複写は、引受館の好意によって成立し、引受館に一切の迷惑や負担をかけるべきではないと考えます。

東京大学附属図書館

1. 雑誌名は省略しないでください。まぎらわしいものが多いので、検索作業に支障をきたしています。
2. 所在場所を調査した上で明記してほしい。

九州大学附属図書館

貴大学からの文献複写申込には、教官所属学部名の記入されていない分が多く、納入告知書発行事務に支障となりますので、今後は記載事項については充分注意して申込願います。

当方では多くの件数を処理しなければなりませんので、一教官の所属学部まで調べるのは大変な負担になりますので、ご協力願います。

記入はタイプか印刷字体で明確に記入してください。

沖縄研究資料（郷土資料）の収集

沖縄研究資料の複写収集は年次的に、「沖縄研究資料複写計画表」にもとづいて実施している。昭和50年度に複写収集した資料および所蔵機関名は次のとおりである。この中から主要なものをとりあげて簡単な解題を付しておいた。

防衛庁戦史室	沖縄戦関係資料
山下久四郎文庫	沖縄糖業関係資料
内閣文庫	中山世譜 他
国立公文書館	大政類典 他
国立国会図書館	石室秘稿 琉球関係 他
外務省外交史料館	琉球所属問題 他
東京大学史料編さん所	島津家文書 他
東京教育大学附属図書館	蔡温家譜 他
国学院大学附属図書館	沖縄日報 他
東京都立日比谷図書館	第一回沖縄県議会決議録 他
青森県立図書館	世森儀助文書
山形県立図書館	過越方の記
祭魚堂文庫	八重山島取調書 他
倉倉芳太郎氏蔵	歴代宝案 他
南風原公民館	島方筆入帳 他
上勢頭亨氏蔵	呈文 他

1) 防衛庁沖縄戦関係資料

防衛庁の戦史資料室に収蔵されている沖縄戦に関する約300点の資料のコピーである。これらの貴重な資料のマイクロコピーが実現したのは、沖縄資料編集所長の大城立裕氏と本学短期学部助教授我部政男氏の尽力によるものである。

内容は沖縄配属の各部隊が、大本営に報告した資料つづりや沖縄戦の後米軍に接收され、その後日本政府に返還されたいわゆる「返還文書」や、沖縄戦に関係した当時の参謀などの手記からなっている。例えば昭和19年3月から20年1月までの第三二軍参謀部陣中日誌、昭和16年7月から20年4月までの歩兵第八九連隊の陣中日誌、第三二軍司令部日々命令綴、牛島満第三二軍司令官の訓令書、第六二師団司令部の「戦闘経過概要」「戦闘詳報」などが含まれている。

2) 山下久四郎文庫

山下文庫は山下久四郎氏が沖縄県ならびに鹿児島県糖業課の囑叱時代（昭和6年～昭和16年）に収集した大正・昭和初期の糖業関係の資料である。原資料は県教育委員会文化課主幹名嘉正八郎氏らの努力により、所有者の山下氏から県立図書館へ寄贈され、「山下文庫」として同館に保存されている。寄贈の経緯については同館発行の「山下文庫創設記念 沖縄糖業関係資料展々示目録 昭和51年6月3日～5日」の中で「山下文庫について（名嘉正八郎）」に詳しい。

山下久四郎氏は明治34年3月27日三重県志摩郡阿児町に出生、大阪市基督教青年会英語学校卒業（大正4）、早稲田大学政治経済科及文学科講義録修業（正11）の後日本砂糖協会設立（昭和5）、鹿児島県黒糖販路調査囑叱（昭和6～15）、沖縄県農会県外砂糖市場調査員囑叱（昭和10）、沖縄県糖業調査員囑叱（昭和15）を経て昭和16年8月に沖縄県糖業調査会委員に任命された。現在は日本砂糖日報社、日本菓糖新聞社社長の要職にある。

山下文庫の内容は、「砂糖座日記」「砂糖座旧記」のように今日沖縄においては焼失して現本のないものも含まれている。この二つの資料は山下氏により作成された複写本である。沖縄県糖業に関する諸統計を収録した、沖縄砂糖同業組合編「糖業彙報」も貴重な資料である。また「沖縄県糖業統制」「沖縄黒糖（価格）」「砂糖消費税改正ニ関スル陳情書」「砂糖間税並附加税徹廃反対陳情書」、その他戦前の沖縄振興関係資料が多数含まれている。糖業関係以外の資料として町村勢要覧などもある。以上の資料の中には、一枚から数枚のリーフレット資料も多く含まれており、収集のきめ細かさうかがわれる。沖縄糖業関係の極めて貴重な資料群であると言える。

3) 外務省外交史料館蔵

琉球処分関係

当館所蔵の同資料は主として明治5～7年外務省管轄時代のものと、琉球の帰属をめぐる日清外交々渉関係とに二大別出来る。前者はまとまっておられ後者はほとんど原本は焼失している。

(一) 外務省管轄時代

- (1) 琉球藩諸調書（明治6調） 五冊
- (2) 琉球入貢諸例 七冊
- (3) 類聚入貢諸例 二冊
- (4) 琉球藩取扱書類（明治4.7～明治8.5） 二冊
- (5) 琉球藩諸件上陳（明治4.7～明治7.6） 一冊
- (6) 琉球藩在勤来往翰（明治5.10～明治6.12） 二冊
- (7) 琉球使臣上京書類（明治5.6～同10） 一冊

- (8) 琉球藩派員来往翰 (明治7. 1 ~ 同6)
 (9) 琉球使臣来朝始末 (明治6 ~ 同6月) 二冊
 (10) 伊地知在琉中書類 (明治6. 3 ~ 同11)

右はすでに「日本外交文書」(第5~8巻)に収められているものもあるが一部にすぎない。また処分関係の基礎資料である松田道之編「琉球処分」(全三冊)との関係は、右資料が一括して内務省に貸出され、少なからぬ数が同書に収録されているので、その原資料であることが確認される。但し同書の範囲は明治五~十二であるので、その全てではない。さらに(1)(2)(3)は外務省が琉球藩藩員を外務省属として編さんせしめた藩政時代の総合的琉球藩調査史料であるが、これらは松田「琉球処分」では省略されており、その他(1)~(10)を子細に検討すると同書並「日本外交文書」未収録の多数の重要史料の存在が確認される。

(二) 琉球帰属問題 (日清外交交渉)

外務省旧目録によると「琉球ノ所属問題ニ関シ日清両国争議一件」(明治九、一~三十九、七)という原本八冊の存在が確認出来るが焼失とされ残念ながら現存しない(昭和17年外務省火災、昭和20年戦災により多数の記録が焼失した)。わずかに

(1) 琉球問題 一冊 (2) 琉球所属問題 第一、第二(明、~明20、9) (3) 琉球藩関係新聞抜萃(明治12)一冊があるが、(1)は井上馨伝記編纂の過程でまとめられたもの、(2)は「外交史料」として外務省でまとめたもので、いずれもタイプ印刷である。(3)は原本。

(外務省外交史料館編纂室 原口邦弘:「外務省外交史料館所蔵沖縄関係史料について」(南島史学会七月例会 昭和51、7、17)から転載した)

4) 東京教育大学附属図書館蔵

「沖縄祭歌 全」および「蔡氏家譜」など約20点の資料を含んでいる。「沖縄祭歌」は「おもろさうし 巻三」のことであり、この本の表紙の裏に書かれているメモに、明治29年2月23日に「からの舎主人」がチエンパレンから借り受けて手写したものであると記されている。「からの舎主人」とは、本学助教授池宮正治氏よれば、言語学者岡倉由三郎(1868~1936)の雅号であるという。

なおこの「おもろさうし」は、東京教育大学大学院に在学中の仲地鉄夫氏によって同図書館より発見されたものであり、未見の資料として注目されている写本である。その他、十半敷屋朝敏遺

稿」「蔡温家譜」「沖縄県用尋常小学読本 卷一～八」「鎌倉芳太郎氏メモ」なども含まれている。

5) 笹森儀助文書

笹森儀助(1845～1915)。明治中期の探検家、島嶼研究家。青森県の人。剣士山田登に剣を学び、勤王思想と農業尊重の思想を植えられた。明治24年4月より自ら「貧旅行」と称する旅行を企て、全国の士族産事業を訪ね鹿児島まで下った。明治26年6月49才で更に琉球探検の旅に上り「南島探検」を著した。

「南島探検」は、北は奄美大島から南は与那国までの見聞記をまとめたもので、いまでは見ることのできない貴重な資料を豊富にふくんでいる。

明治27年8月奄美大島々司に推され、31年まで在任、この間十島の調査、台湾視察を行った。沖縄探検の目的は国防軍事意識の高揚とそのための資源踏査にあった。

このたび收藏された「大島郡雑記」他9点の資料は、笹森儀助文書として青森県立図書館に所蔵されているものの中から、沖縄に関するものだけを複写して收藏したものである。

6) 祭魚堂文庫

渋沢敬三(雅号 祭魚堂)(1896～1963)。実業家、民族・民俗学者。東京の人。渋沢栄一の孫。日本銀行総裁。幣原内閣蔵相。昭和9年日本民族学会を設立、常民文化研究所の振興に尽力した。たんなる財界人ではなく、民俗学者、生物学者としても知られ、私財を投じて常民文化研究所を主宰したほか、多くの研究者の助成に努めた。(広辞苑及び世界大百科事典(平凡社))

大正15年5月、石黒忠篤を伴って台湾及び沖縄諸島の訪問をこころみ、「南島見聞録」を書いた。本学図書館に收藏された「八重山取調書」他10点の資料はこの間に収集したものであろうか。

- (1) 八重山島取調書 明治27年
- (2) 八重山島取調書附録 明治27年
- (3) 宮古島取調書 明治26年
- (4) 藩地事務記録
- (5) 琉球雑話
- (6) 沖縄県下先島回覧意見書 明治15年
- (7) 八重山島風土病調査書 明治25年
- (8) 沖縄本島取調書
- (9) 琉球内法取調書 明治23年
- (10) 糸満社会史

諸文献目録の発行について

本学図書館ではこれまでに、いくつかの沖縄研究（郷土資料）に関する文献目録を発行してきた。「琉球郷土資料目録（1957）」「琉球関係英文文献目録（1964）」「琉球郷土資料目録（改訂増補版 1966）」「公害関係新聞記事索引—沖縄タイムス・琉球新報—（1973）」「新聞記事索引—沖縄タイムス・琉球新報—（人文・社会編）（1973）」「沖縄関係雑誌記事索引（人文・社会編）（1974）」「沖縄関係雑誌記事索引（自然科学・工学・産業編）（1976）」等がその主なものである。

これらの文献目録は発行のつど、教官や県内外の大学、政府機関、県庁および主要な公共図書館等に配付してきた。沖縄学研究の隆盛と相まって、国内だけでなく海外はBritish Museumやアメリカ議会図書館（L. C.）及びエール大学等の大学図書館からの入手希望もあった。これらの有名な機関にはできるだけ送るようにしているが、発行部数が少量ということもあって、全ての要望に応ずることはできなく、残部も残っていない。

現在若干残部のあるのは「雑誌記事索引（自然科学・工学・産業編）」だけである。本学の先生方ご希望の方は図書館3階事務室 総務係（電話 335）へお申込みください。

図書館では今後もひきつづき諸書誌類を発行していく計画である。現在発行準備中のものは「学内出版物論文総覧」を予定している。これは学内の紀要や学生のクラブ誌、その他の学内出版物に発表された論文の記事総覧であり、特に本学の先生方がこれまでに学内紀要類に発表した論文はすべて収録した。今会計年度中に発行し、各学部長、学科主任あてに文書を発送するので、入手希望の方は図書館へお申込みください。

第98回図書館運営委員会要録

日 時：昭和51年11月17日（水）15:10～17:00

場 所：琉球大学附属図書館会議室

1. 審議事項

1) 図書館新館建築について

新館建築（案）にむけてのたたき台としての審議事項が参考調査係長から説明され審議された。

- ◎身体障害者用出入口の自動ドア化、エレベーターの位置を検討しなおすこと。また盲人、~~聾~~聾者を含めたかたちでのサービス、設備条件等の検討が必要であろう。
- ◎マイクロフィルム資料室のスペース、リーダー機の数およびスペース、視聴覚設備の強化などを考慮してほしい。
- ◎新館建築に教官の意見を反映させる方法を考慮してほしいとの要望が出された。これに対して、そうすべきであるので建築案が具体化する段階で教官、学生の意見を反映させるための方法を考慮したい、との回答が図書館側からなされた。
- ◎農学部より、大学院設置および移転のための分館問題について学部の意見を取りまとめて、次の機会に報告したいとの申しでがあった。

2. 報告事項

1) 昭和51年度教官研究用貸出図書の確認調査の中間報告(状況)について

8月16日付で10月30日回答期限)で文書を発送したが、11月15日限在、全学で(保健学部図書室の分を除く)42.6%の回答状況でしかなく確認調査を完了することができないので、各教官の回答協力を要請したいとの報告が閲覧係長よりなされた。

その他

- ◎教授職員会から学長への要請事項(1 図書購入の簡便化について 2 図書の郷土資料の貸出の問題について)について受入係長から説明があった。
- ◎保健学部 杉浦正輝新運営委員の発令(51、11、1 ~ ~~53~~10.31-10-30)の報告。

琉球大学附属図書館報 びぶりお 第9巻2号「通巻36号」

昭和51年11月26日 発行人 平良 恵仁

沖縄県那覇市当蔵町3丁目1番地 電話34-0101